

STORIES FROM THE CAPITAL

33
ISSUE



2023 秋季号

TAI^台PEI^北

スローライフ、穏やかな日々
カバーストーリー

関渡：台北にある自然のオアシス

TAIPEI 台北

PICK UP POINTS

本誌は以下の場所で無料で配布します。

台北市政府観光傳播局 /
台北市觀光傳播局
Department of Information and
Tourism, Taipei City Government
☎ (02)2720-8889 / 1999 内線 7564
〒 台北市市府路 1 号 4 階

台湾桃園國際空港第一ターミナル 到着
ロビーのトラベルサービスセンター
Tourist Service Center at Arrival Lobby,
Taiwan Taoyuan International Airport
Terminal 1
☎ (03)398-2194
〒 桃園市大園区航站南路 15 号

台湾桃園國際空港第二ターミナル 到着
ロビーのトラベルサービスセンター
Tourist Service Center at Arrival Lobby,
Taiwan Taoyuan International Airport
Terminal 2
☎ (03)398-3341
〒 桃園市大園区航站南路 9 号

松山車站 / 松山駅
Songshan Station
☎ (02)2767-3819
〒 台北市松山路 11 号

南港車站 / 南港駅
Nangang Station
☎ (02)2783-8645
〒 台北市南港路 1 段 313 号

美國在台協會 / アメリカ在台湾協会
American Institute in Taiwan
☎ (02)2162-2000
〒 台北市金湖路 100 号

遠企購物中心 /
遠企ショッピングセンター
Taipei Metro the Mall
☎ (02)2378-6666 内線 6666
〒 台北市敦化南路 2 段 203 号

國語日報語文中心 /
国語日報語学センター
Mandarin Daily News
(Language Center)
☎ (02)2341-8821
〒 台北市福州街 2 号 2 階

台北松山機場 / 台北松山空港
Taipei Songshan Airport
☎ (02)8770-3430
〒 台北市敦化北路 340-9 号

榕錦時光生活園區 /
榕錦時光生活園區
Rongjin Gorgeous Time
☎ (02) 2321-8896
〒 台北市金華街 167 号

台北美國學校 / 台北アメリカンスクール
Taipei American School
☎ (02)2873-9900
〒 台北市中山北路 6 段 800 号

國立國父紀念館 / 国立国父紀念館
National Dr. Sun Yat-sen
Memorial Hall
☎ (02)2758-8008
〒 台北市仁愛路 4 段 505 号

國立中正紀念堂 / 国立中正紀念堂
National Chiang Kai-shek
Memorial Hall
☎ (02)2343-1100
〒 台北市中山南路 21 号

台北當代藝術館 / 台北当代芸術館
Museum of Contemporary Art
(MoCA), Taipei
☎ (02)2552-3721
〒 台北市長安西路 39 号

市長官邸藝文沙龍 /
市長官邸アートサロン
Mayor's Residence Arts Salon
☎ (02)2396-8198
〒 台北市徐州路 46 号

台北國際藝術村 / 台北国際芸術村
Taipei Artist Village
☎ (02)3393-7377
〒 台北市北平東路 7 号

新富町文化市場 / 新富町文化市場
U-mkt (Xinfu Market)
☎ (02)2308-1092
〒 台北市三水街 70 号

交通部觀光局旅遊服務中心 /
交通部觀光局トラベルサービスセンター
Travel Service Center, Tourism Bureau,
M.O.T.C
☎ (02)2717-3737
〒 台北市敦化北路 240 号

台北之家 / 台北之家
Taipei Film House
☎ (02)2511-7786
〒 台北市中山北路 2 段 18 号

台北市政府市民服務組 /
台北市役所市民サービスカウンター
The public service group of
Taipei City Government
☎ (02)2720-8889 / 1999 内線 1011
〒 台北市市府路 1 号

士林官邸 / 士林官邸
Chiang Kai-shek
Shilin Residence
☎ (02)2883-6340
〒 台北市福林路 60 号

台北市孔廟 / 台北市孔廟
Taipei Confucius Temple
☎ (02)2592-3934
〒 台北市大龍街 275 号

台北記憶倉庫 / 台北記憶倉庫
Taipei Info Hub
☎ (02)2371-4597
〒 台北市忠孝西路 1 段 265 号

松山文創園區 /
松山文化クリエイティブパーク
Songshan Cultural and
Creative Park
☎ (02)2765-1388
〒 台北市光復南路 133 号

華山 1914 文化創意產業園區 /
華山 1914 文化クリエイティブパーク
Huashan 1914 Creative Park
☎ (02)2358-1914
〒 台北市八德路 1 段 1 号

國立台湾博物館 / 国立台湾博物館
National Taiwan Museum
☎ (02)2382-2566
〒 台北市襄陽路 2 号

台北市立圖書館 / 台北市立図書館
Taipei Public Library (Main & branches)

台北市旅遊服務中心 /
台北市觀光案内所
Visitor Information Centers in Taipei

MRT 各駅
All Stations of MRT Lines

誠品書店 / 誠品書店
eslite Bookstore

金石堂書店 / 金石堂書店
Kingstone Bookstore

秋の台北の魅力を探す

暑い夏が別れを告げると、台北にも涼しくアウトドアイベントにぴったりの秋がやってきます。緑に囲まれた関渡なら、都会の喧騒を離れ、爽やかな時間を過ごすことができます。

台北で唯一の水田地帯である関渡では、「関渡国際自然芸術季」や「台北国際バードウォッチング博覧会」などの魅力的なイベントが目白押しです。関渡埤頭や関渡水岸公園まで川沿いをサイクリングし、台北の自然を満喫しませんか？

古き良き時代の魅力と現代的な技術が織りなす街、台北で見られる建築史は、旅行者に活気に満ちた都会の美しさを伝えてくれます。

信義地区には国際的にも有名な建物が数多くあります。台北101を始め、プリツカー賞受賞者リチャード・ロジャースが手掛けた贅沢なフォーシーズンズホテル台北や、イタリアの著名建築家アントニオ・チッテリオが手掛けた高層ビル、ザ・スカイ台北が立ち並んでいます。

すぐ隣の台北ドームを有する東部地区では、アート、ショッピング、グルメを盛り込んだ「台北白昼の夜」が10月に開催され、一帯が活気づきます。

近代的な高層ビルと相反して、古亭地区には日本時代からの伝統建築があふれています。秋季号では、歴史ある邸宅と4つの教会を探索。生きた建築史とも言われる教会が、多様な文化的影響を受けながら、街に馴染んでいった経緯をお届けします。

さらに、台北駅や台北市政府のロビーなど、台北のランドマークに刻まれた書道家の朱振南氏の芸術的遺産にも注目します。

10月末、世界中のLGBT+ 団体が集まる東南アジア最大のLGBT+ ブライド・パレードが台北で開催されます。特に今年は21周年という節目の年で、「彩虹平権大平台」の積極的な協力のもと、LGTB+ フレンドリーな環境を育むべく徹底した取り組みを行っています。

豊かで多様なグルメタウンとしての台北は、多くの美食家たちに冒険の旅を提供しています。まもなく台湾では中秋月を迎えることから、伝統であるパーベキューの名店を厳選してお届けします。

ここ数年、台北は国際メディアよりアジアの拠点として選ばれることが多くなりました。フリーランス・ジャーナリストの1人であるアリス・ヘライト氏は、台湾と母国であるフランスの文化的違いを踏まえながら、日々の体験や観察から得た情報をメディアで発信しています。

イベントに参加する方も、グルメに舌鼓を打つ方も、台北の町並みを謳歌する方も、台北探索のガイドとして本号をチェックしてみてください。



台北オンラインアンケートに答えて、抽選宝くじで賞品をゲットしよう！

TAI^台PEI^北

COVER STORY

| 関渡：台北にある自然のオアシス 04

CITY SCENE

| 東区 + 信義区 台北東部：国際的建築の名ギャラリー 14

| 古亭 台北南部を往く 20

CULTURE & LIFESTYLE

| 美しく神聖な空間へー台北教会ツアー 28

| 台北の書道の今昔をたどって：朱振南の芸術の旅と洞察 34

A CITY FOR CHANGE

| 台湾ジェンダー平等推進の先駆者
| 彩虹平権大平台 40

FOOD & DRINKS

| 丸一日食べ歩き：台北グルメ探訪ツアー 48

| 台北の秋のご馳走
| 3軒のバーベキュー店と、ご自宅での調理方法 54

A DAY IN THE LIFE

| ジャーナリストの旅：台北の複雑さと魅力を紐解く 60

(写真・関渡自然公園)

TAIPEI 郵政割撥（郵便振替）での定期購読について / 6 期

振替口座番号 / 16630048

振替口座名義 / 台北市観光伝播局

台湾国内	NT\$180 元	（普通郵便で発送）
香港・マカオ	NT\$540 元	（航空便で発送）
アジア太平洋地域	NT\$660 元	（航空便で発送）
ヨーロッパ / アメリカ / アフリカ地域	NT\$900 元	（航空便で発送）

オンライン雑誌：
www.travel.taipei/ja > マルチメディア > TAIPEI

台北市観光伝播局

書面による許可なく本誌の全部または一部を複製・複写することはできません。

中華郵政台北雜字
第 1377 號執照登記為雜誌交寄
本号定価 NT\$30 元



発行者 陳淑慧
編集長 張詩珮
副編集長 陳其睿
編集 連爾歡
マーケティング 葉冠廷、林欣儒
翻訳 下山敬之、許育華、顏婕力
陳稚宜、秦雅如
デザイナー 王依玲
カバー写真 Sun Lee

台北市観光伝播局

住所 台北市市府路 1 号 4 階
Tel 1999 (台北市外からは 02-2720-8889) 内線 7564 または 7566
Fax (02)2720-5909
Email taipei_quarterly@gov.taipei
ISSN 24137774
GPN 2010402343

Taiwan Scene 让世界爱上台湾股份有限公司

Tel (02)2562-5005
Fax (02)2562-5505



本誌は大豆インクを採用しています。
本誌に対するご意見、ご要望などがございましたら、是非、E-mail またはファックスにてお寄せください。

関渡：台北にある自然の オアシス

文 Hsin Ya Teng / 張友彥

編集 下山敬之

写真 Ziflin Studio / 張友彥、関渡自然公園、台北市野鳥学会

1

台湾の首都である台北は高層ビルが林立し、交通は混雑していますが、そんな都市の中に一息つける場所があります。それが自然に近く、現地の文化を感じられる関渡です。

関渡は北投区に位置し、かつては甘豆門と呼ばれていました。観音山と大屯山を背にし、淡水河に面した立地となっています。

また、淡水河と基隆河が交わる場所でもあり、湿地生態系が豊富であることから、様々な渡り鳥が羽を休める重要な休息地でもあります。

関渡平原にある台北唯一の大型農地は、台北市にある農地の90%を占めていて、水田の規模は数百ヘクタールにも及びます。ここでは田植えや稲刈り、脱穀、粃摺りなど伝統的な稲作文化が体験できます。関渡でツヤのある稲穂が風に揺れている風景を見ると、

ふと都会にいる事を忘れてしまうでしょう。

その魅力的な自然と環境から、休日の際には多くの家族連れがサイクリングロードを自転車で走る姿が見られます。淡水方面へ向かって走ったり、川岸の景色を楽しんだり、関渡にあるスポットを訪れるなど楽しみ方は様々です。

自転車で巡る生態系の旅

関渡自然公園

関渡自然公園の湿地は、生態系を守る上で非常に重要な場所です。魚類やエビ、カニなど多様な生物の保護をしているほか、渡り鳥が南下する際や越冬する際の休息地となっています。特によく見かけるのはセイタカシギやコガモです。



台北市政府は関渡の湿地を保護する目的で、1996年に関渡自然公園を設置しました。主に生息地の保全と保護研究、そして生態系に関する教育の推進を行っています。事前に予約をする事でガイドツアーに参加し、関渡湿地の歴史や湿地に生息する動植物について学ぶ事ができます。野鳥に興味がある方は、台北市野鳥学会が主催する様々なテーマの講座を受講しましょう。また、毎週末には自然センター

1. 台北にある関渡平原は、豊かな生態系を持つ大規模な湿地です。 | 2. 関渡地区にある淡水河のサイクリングロードは平坦で走りやすいため、親子で出かけるのに最適です。 | 3. 関渡は淡水河に接した美しい河川環境を持つ場所です。



の2階で専門家による解説を受けられるほか、実際に野鳥観察の道具を使って、鳥たちが羽ばたく姿を見ることができます。

関渡水岸公園

関渡水岸公園は関渡宮と関渡漁港に隣接していて、その面積は63ヘクタールに及びます。散歩道や川沿いのサイクリングロードがあるほか、近年改装された「関渡埠頭」は「台北市藍色水路」という航路の船着き場の1つです。ここから乗船して、他の埠頭へも行けるので、昼夜を問わず台北の美しい河川の風景が楽しめます。

この他にも関渡水岸公園では、インスタレーションアートが楽しめるほか、リクライニングチェアが設置されているので、サイクリング後の休息にもピッタリです。日中は湿地帯の多様な生態系を観察し、夜間は遠方に望む八里区の



4

関渡宮 歴史と建築美を探訪

観音山を眺めるなど、1日を通して異なる風景が楽しめます。

関渡宮は長い歴史を持っており、建立からすでに300年以上が経過しています。これは北

部にある媽祖廟の中で最古のもです。建物の外を眺めると、関渡漁港にいくつもの漁船が停泊してる様子が見られます。数百年前、漁業を生業とした台北の先祖たちが、海の守り神である媽祖に海上での安全と大漁を祈願した姿が思い浮かぶ事でしょう。

関渡宮の建築美は奥深く、細部まで楽しめます。建物は何度も修繕されていますが、龍柱や花鳥柱、石獅子といった歴史ある石彫が数多く残されています。他にも石彫の壁画から媽祖の物語を学んだり、素材や彫刻技法などから歴史的背景を探ることができます。



4. 関渡の河岸はサイクリング、スポーツ、レジャーに最適な場所です。（写真・張友彦） | 5. 川関渡埠頭からは船に乗って淡水河を往来できます。



6. 300年以上前に建てられた関渡宮は、地元の信仰の中心地です。 | 7. 関渡宮の正殿には天上聖母と呼ばれる媽祖が祀られています。

この建物には数多くのこだわりが隠されています。例えば、柱と梁には木彫りで民間伝承を描き、窓枠には花鳥をモチーフにするなど、吉兆や祝賀を象徴したデザインとなっています。また、屋根にも奥深い工夫が凝らされています。屋根飾りにはカラフルな龍や鳳凰、鳥や花があしらわれていますが、これらは剪花工芸で作られたものです。剪花工芸とは、細か



く切られた陶磁器の欠片を張り合わせて作る技法です。参拝をする際には、ぜひこれらの建築装飾にも注目し、台湾の寺院の建築美を楽しんでみてください。

国立台北芸術大学 アーティストの学 び舎

MRT 関渡駅から自転車で7分ほど走ると、国立台北芸術大学のキャンパスに到着し、そこから坂を登ると各学部美しい建物が見えてきます。

台北芸術大学の前身は、1982年に設立された国立芸術学院です。現在は音楽、美術、演劇、ダンス、文化資源、映画とニューメディア、人文学などの7つの学部があります。卒業生たちは台湾の芸術界で幅広く活躍しているので、

芸術分野を志す人たちにとって最適な環境と言えるでしょう。

キャンパス内は、芸術に関するリソースが豊富です。展覧スペースや書店などもあり、アーティストたちに数多くの素材や創作の場を提供しています。この他にも関渡美術館が敷地内にあり、国内外のアーティストたちのその時々の作品が鑑賞できます。また、時折開催されるハインドメイド作品のワークショップでは、アーティストの考え方や実際に作品を作る体験を通して、アートは日常の中にあり、遠い存在ではない事が学べます。

8. 国立台北芸術大学は、美しい関渡平原を望む丘の中腹にあります。



8





関渡秋の大型イベント

毎年、関渡では環境保護をテーマとしたイベントが数多く開催されています。特に秋に開催される関渡国際自然芸術祭と台北国際バードウォッチングフェアが有名で、自然や芸術、野鳥が好きな人たちが集まります。爽やかな気候の秋は屋外のイベントに最適な季節です。

関渡国際自然芸術祭

関渡国際自然芸術祭は、関渡自然公園で開催されます。毎年開催されている本イベントは、2006年にスタートし、今年で18年目になります。芸術祭では毎年9月から年末にかけて国内外のアーティストを招き、自然の素材を利用し、芸





10

術的なコンセプトと美しさを備えた作品を作り上げます。同時に作品を通じて、環境への関心を高めています。

芸術祭は一般の人たちの参加を重視しています。多くの人たちのイベント参加こそが、地元とアーティストへの最大限の支援になるからです。オープニングセレモニー、アーティストによるワークショップ、芸術作品のガイドツアー、団体によるアートパフォーマンス、エコロジーツアー、ファーマーズマーケットなど関渡湿地で開催される芸術イベントを通じて、「人と自然の関係」の美しさを伝えています。

台北国際バードウォッチング博覧会

毎年の冬には、渡り鳥が寒さを避けるために北方から南方へと移動します。関渡湿地は、渡り鳥た

ちが休息や越冬をするのに最適な場所です。人にとって秋と冬は、渡り鳥の生態を学ぶのに適した季節です。特に野鳥の愛好家たちは台北国際バードウォッチング博覧会が開催される1年に1度の機会を見逃しません。

海外からも野鳥が好きな人が集まる本イベントの今年のテーマは、「宝島固有種」です。多くの鳥類が絶滅の危機に瀕する中、台湾固有の鳥類を広める事で、生活をともにするこれらの貴重な「友人」を守るという意識を喚起します。

また、会場ではゲームや映像の展示、講座やワークショップなどに参加することで、鳥類やバードウォッチング、生態系保護に関する知識を深める事ができます。

関渡は都市の中にある自然の宝庫で、豊かな生態系と文化資源を

秘めています。都心から車で20分ほどと距離も近く、都会の喧騒を離れて一息つく、あるいは現地の風土を深く理解する際に最適なスポットです。特に秋の関渡は住民にとっては最高の環境ですし、観光客が台北の多様性を理解するのにも適しています。ぜひ関渡へ足を運んで、自然と文化に触れてみてください。



▶台北国際バードウォッチング博覧会



▶関渡国際自然芸術祭

9. 関渡自然公園には一般向けに設置された野鳥観察用の双眼鏡があります。| 10. 台北国際バードウォッチング博覧会は毎年秋と冬に開催されます。(写真・台北市野鳥学会)

東区+信義区 台北東部：国際的建築の 名ギャラリー

文 Rick Charte

編集 下山敬之

写真

NeverEnding Studio、陶朱隱園、台北南山広場、台北市文化局、
台北市観光伝播局、台北市商業処、顏健力、NeverEnding



旅行作家たちは1900年代の後半にわたって、そして1990年代に入っても、台北を「アジアの醜いアヒルの子」と評していました。

現在では、それも遠い過去の話です。その後、台北の街並みはサナギのように、アジアで最も素晴らしいフォトジェニックな都市の1つへと生まれ変わりました。四方を囲む緑豊かな山々が、その現代的で国際化された美をさらに引き立てています。

20世紀半ば頃から、中国内戦後の資金難と、中国からの数百万人の難民の流入に直面した台湾は、美しさよりも便宜性を重視しました。その結果、「家庭的だが愛すべき」という寛大な呼び名の付いた建築様式が生まれ、この中に、大胆でカラフルな中国寺院や、より控えめで重厚な日本時代の建物が点在するようになりました。

今日において建築活動のメッカとなっているのは、きらびやかな東区、特にその中の信義区で、この台北で最も国際化されたセクターにおけるランドマーク的な建物が集中しています。この街を訪れる人は、形と機能が独特の融合を遂げ、森のように生い茂る、環境に優しく想像力豊かな建築の中を歩き回ることになります。この街のスカイラインは、台北の先見のなプロジェクトに参加して名声を得ようとする世界的な建築家たちによる、壮大なコンペティションの舞台なのです。

1. 国際色が強い台北東部の様子。(写真・NeverEndingStudio) | 2. 台北市の夜景を一望。(写真・顏健力)

台北の商業と金融の中心地である信義区を訪れ、最高級の建築芸術作品を間近で見てください。

台北101—台湾で最も高いビル、国の象徴

超高層ビルの台北101（そう、101階建てです）は、台北建築の宝庫においてひと際輝かしい宝石です。飛行機や乗り物で台北に近付くにつれ、遠くからでもよく見えるこの建物は、特に夜間ライトアップされると、深い台北盆地に輝く標識のようにも、信義区に直立状態で着陸した巨大なロケット船のようにも見えます。2004年12月1日から2010年1月7日まで地球で最も高い建築であったこのビルは、「LEED」プラチナ認証を取得しており、世界で最も高いグリーンビルという称号は今も変わりません。

台北のランドマークとして、外国人観光客に最もよく知られ、親しまれているこの建物は、毎年恒例の台北カウントダウンパーティーの壮大な花火ショーの舞台として、世界的にさらによく知られています。

国際的に高く評価されている台湾の建築家C・Y・リー（李祖原）氏が設計した、高さ508メートルのこの建築物は、先進的な工業素材と技術を採用した現代的な構造の中にも古典的なアジアの美学を感じさせる、ポストモダニズムの作品です。

緑を基調としたガラスファサードのノダルデザインタワーには、それぞれ8階建ての、8つのくさび形セクションがあります。中国文化において、「8」の数字は繁栄と幸運の象徴です。また、節の集合体は竹の茎に似ていますが、これは弾力性と絶え間ない成長を象徴しています。

外国人観光客にとって、台北三三展望台は絶対に見逃せない観光スポットです。88階、89階、91階から周囲を一望することができます、勇気のある人はガイドと安全ロープ付きで外を歩いてみることもできます。内部には、重量660トン、直径5.5メートルに及ぶ世界最大の風防球体、同調質量ダンパーが展示されています。

信義区その他のランドマーク

東区は世界の潮流に敏感な流行の発信地であり、信義は商業と金融の中心地です。伝統と歴史を守り育んできた、より古い西部地区に対し、国際化された東部、特に信義は、広い世界を舞台として熱



心に未来を見据え、最も近代的で先進的なものを積極的に取り入れています。台北101から、市内中心部近くに建造された新しい台北ドーム（台北大巨蛋）、別名「ビッグエッグ」までの広範囲に高くそびえ立つ街並みは、世界の舞台を見据える大都市らしい自信とセンスを力強く誇示しています。

台北101の真南に面し、2025年の開業を目指して建設が進められている高級ホテル、フォーシーズンズホテル台北（四季酒店）の設計を手掛けたのは、プリツカー建築賞を受賞した巨匠リチャード・ロジャース氏です。

このホテルは31階建て、高さ180メートル、客室数約260室で、市街地と山の両方の眺望を楽しむことができます。「都心の空に浮かぶコートピア」の建設を設計コンセプトとし、国際化、近代化、ランドマーク的地

位の獲得という3つの主要な基準を打ち立てています。ガラスカーテンの外観（高く薄い構造は、リヴァイアサンの金色の携帯電話を直立させたような外観となるでしょう）には、超白色の低放射ガラスと、薄型の眺望エレベーターが採用されます。最上階は天井を高く設け、センサーシヨナルなパノラマビューが望める、一般公開のスカイラインスペースを作り出します。

オープン間近のザ・スカイ台北（台北天空塔）は、台北101の半ブロック北、台北市庁舎のすぐ東に位置します。汎アジアのプライベートエクイティ不動産会社であるリアント・キャピタルは、ホテル、商業施設、パフォーマンスホール、プライベートクラブが一体となった超高層ビル・ポディウム複合施設を開発しており、ハイアットホテルズの高級ブランド、ブティックパークハイアット

トとライフスタイルアンダーズが入居する予定です。建築設計を担当したのは、イタリアの人間国宝であるアントニオ・チッテリオ氏とパトリシア・ヴィエル氏の有名なチームです。

このプロジェクトは、ハイアットにとってアジア初となる、2つのホテルを併設する高級ホテルの開発プロジェクトであり、台北は東京と上海に次いで世界で3番目に、パークハイアットとアンダーズの2ブランドを同じスカイラインに擁する都市となります。客室数は合わせて約68室となる予定です。

伝統とモダニズムが調和した台湾独自のデザインは、特に台北らしく活気あふれる大都市の雰囲気を読めるものです。緑色のガラスカーテンの外観は台湾のタケノコを、古代ギリシャ風の円柱の襷は西洋文化をイメー



3. 台北南山広場は信義区の中核を担う重要なスポットです。（写真・台北南山広場） | 4. 世界初となる三重螺旋構造の住宅、陶朱隱園。（写真・陶朱隱園）



4

ジしています。54階建てのタワーのうち、16階から28階はパークハイアット、30階から49階はアンダーズとなります。50階から51階は店舗スペースとなります。高さ280メートルのタワーは、信義で2番目に高い建造物となります。

2018年に完成した台北南山廣場は、台北101のすぐ東に位置し、日本の名門建築事務所である三菱地所設計の著名な建築家、須部恭浩氏によって設計されました。この複合施設は、一部に商業フロアを備えた48階建て・高さ272メートルのオフィスタワー、7階建てのモール、オープンな文化芸術スペースを備えたダイヤモンド型のエントランスビルの3構造からなります。

全体的なデザインは、台湾の隆々たる山脈に敬意を表し、高

さの異なるこれらの建造物を山脈のように連結させたものです。

ガラスカーテンの塔の中心部を包む一対の尖塔は、感謝の気持ちを象徴し、祈りを捧げる手の形をしています。46階から48階には、素晴らしい景色が一望できるレストランやバーが入店しています。文化・芸術棟の多面体の外観デザインのモチーフはタワーと共通しています。このモールは、形状の異なる幾何学的な立方体を積み重ねたもので、互い違いの配置によって木々が生い茂る小高いテラスを作り出し、全体的に森林に覆われた小さな山のような視覚効果を生み出します。

陶朱隱園は台北101の北東数ブロックにあります。2018年に完成したこの豪華絢爛な高層ビルは、21階建て、高さ93・2メートルです。持続可能性に焦点を当てた未来的なエコ地区

ベンチャーを専門とするベルギーの著名な建築家、ヴァンサン・カルボー氏が設計したこの建物は、LEEDゴールド認証に加え、低炭建築聯盟からダイヤモンドレベル認定を受けています。

その外観は、DNAの鎖をかたどった特異な蛇行形状がダイナミックに流れており、二重螺旋が基部から天井まで90度に勢いよく曲がっています。積み重ねられたように見える各フロアは上下階から4.5度ずつ回転しており、世界初のねじれ式集合住宅を構成しています。

ニューヨークのセントラルパークに匹敵する約2万3000本の樹木と低木が屋根と外壁を覆い、年間約130トンのCO₂を吸収しています。ガラス床が敷かれたタワーの廊下にも植物が植えられています。



信義区で開催される賑やかな大イベント

東区の洗練されたモダンな雰囲気さをさらに高めるのが、国際的な祭典が目白押しイベントカレンダーです。

初秋の台北で見逃せないのは、都市イノベーションと公共デザインのコネクトと深く結びついたイベント、台北白昼の夜（ニユイ・プランシユ・タイペイ）です。これは、10月の第1土曜日に午後の時から午前6時まで開催されるオールナイトの芸術祭で、見事なライブパフォーマンス

ス、インスタレーションアート、マルチメディアプロジェクトなどの数々を通じ、台北の街を探索することができます。今年のパーティーは10月7日と8日に開催されます。会場は台北の新しい記念碑的な公共建築である台北ドームの近、そして信義商圈です。



5. 陶朱隱園はゴジラに似た独特の形状のため、Google マップの観光名所となり、チェックインして写真を撮る観光客を魅了しています。（写真・Miller Hsu） | 6. 2020 年台北白昼の夜におけるイギリスのアーティスト「Flithy Luker」の作品『章魚入侵』（写真・台北市文化局） | 7. 2022 年の「繽紛耶誕玩台北」で披露されたインスタレーションアート「花海光廊拱門」。人々はクリスマスの雰囲気を感じながら写真撮影を楽しみました。（写真・台北市商業処） | 8. 「台北最 high 新年城」は台北市政府が市民広場で開催する年越しイベントです。（写真・台北市観光伝播局）

最初のニュー・ブランシュは 2002 年にパリで開催され、2016 年に始まった台北版は、台北で最も活気のある大規模な芸術祭へと発展しました。台北はその独特の多文化的多様性から、アジアで最もニュー・ブランシュに適した都市の 1 つとなっています。また、この盛大なジャンボリーは、台北の芸術的ダイナミズムを世界に紹介し、国際的な文化都

市としての台北の知名度向上に貢献しています。

冬が近づくにつれ、台北（繽紛耶誕玩台北）や台北カウントダウンパーティー（台北最 high 新年城）に外国人観光客や駐在員が集まり、お祭りムードが続きます。1 つ目は 11 月中旬から 1 月上旬にかけ、信義区とショッピング街にあるデパ

トやブティックによって開催されます。会場はクリスマスのイルミネーションで飾られ、ライブエンターテインメントが行われます。お祭り好きの人々は、スタンプマップを使いながら 70 以上のチェックインポイントを巡り歩きます。

2 つ目は、「一生ものの体験」とされる、新年までのカウント

ダウン・パーティーです。台北市庁舎周辺に設置された幻想的なイルミネーション、ポップスターやバンドによる 6 時間もの盛大なパーティー、そして世界中に中継される台北 101 の深夜の花火ショーがイベントを盛り上げます。1 月 1 日と 2 日もパーティーイベントが開催され、お祭り気分をさらに満喫することができます。



古亭 台北南部を往く

文 Faith Zhang・Jeen Hsieh

編集 下山敬之

写真 青田七六、梁美秋の旧居、紫藤廬、紀州庵文字森林、東美院、榕錦時光生活園區、
咖啡學人、Ooh Cha Cha、台北月見ル君想フ



1

台北市の南部に位置する古亭地区には有名な通りがいくつかあり、中でも師大路は賑やかな夜市があることで有名です。は、かつては賑やかな商店街として知られ、文化人たちの家や出版社、老舗の書店が集まっていました。詩人の余光は自身の作品の中で、この地で過ごした日々を描いています。例えば、「月光曲 (Cello Song)」では「廈門街の通りは細く長い」と表現していて、古亭の文芸的な雰囲気伝えていきます。

古亭の近国立師範大学、国立台湾大学、台北語文學院があります。さらに、師範大学の芸術学院があることから多くの画材屋やギャラリーもこの近辺に集まっています。語学学習に関するリソースも豊富で、中国語学習を目的とした外国人が多く集まるなど、古亭に国際的な雰囲気を添えています。

この他にも潮州街や温州街には、台湾大学の教員宿舎が多く存在しています。小さな通りには日本式の古い家屋が残されていて、特に有名な紫藤廬茶館は台北南部に美しい風景を作り出しています。日本式の家屋は金華街にも数多くあり、ここではかつての街の雰囲気を味わうことができます。古亭の西側には家具街（南昌路）、アンティーク街（廈門街）、古本街（牯嶺街）が連なり、劇場や芸術のコミュニティが形成されています。古亭の独特な文化や芸術的な雰囲気は、こうしたバックヤードによって支えられているのです。

ここからは、古亭の代表的な建築物や芸術関連のスポットを紹介します。いずれも一見の価値がありますので、ぜひ足を運んでみて下さい。

青田七六

青田街七巷六号に位置する青田七六は、1931年に建てられた和洋折衷の建物です。台北帝国大学の助教授兼付属農林専門部の教授として台湾に赴任した足立仁（1897ー1978）が自ら設計した住居で、後に戦後も台湾に残って教鞭を振るつた台湾大学教授の馬廷英（1899ー1979）が住居としました。

今日の青田七六は、「古蹟の活性化と再利用」により整備とメンテナンスが行われ、馬教授が住んでいた当時の様子が再現されています。建物内部は旧来の日本式家屋らしく、リビング、キッチン、書斎、畳が敷かれた家政婦用の部屋などに分かれ、現在はレストランとして利用されています。この他にも「七六聚落部」という文化体験イベントがあり、和菓子作りや着物の

着付け体験などができます。また、古い建物の観覧ツアーや文化講座も無料で開催され、近隣の人たちに人気の文化コミュニティとなっています。



1. 榕錦時光生活園區は元々、台北刑務所の庁舎だった場所にあります。（写真・榕錦時光生活園區） | 2. 青田七六では伝統的な日本料理を提供しています。（写真・青田七六） | 3. 築92年を迎える青田七六では、無料のガイドツアーを提供しているほか、常態的な地質標本の展示も行っています。（写真・青田七六）



梁実秋の旧居

文学の巨匠と呼ばれた梁実秋（1903—1987）は、英漢辞典や中学校の英語の教科書の編集、並びにKK音標（ケニヨン・ノット式発音記号）の第一人者でもありました。雲和街にある彼の和洋折衷式の旧居は、1933年に建てられたものです。もともとは、台北で教師を務めた富田義介（1893—不詳）の宿舍で、日本による統治が終了してからは、省立師範学院の教職員用の宿舍となり、1952年から1959年まで梁実秋が住んでいました。

この木造戸建ての建物は、賑やかな街中に独特の雰囲気を出しています。建物の面積は30坪で、中流階級が上流階級の住居を模した「和洋二館」の様式となっています。これは応接室や玄関などの接待空間は洋式、寝室や茶室などは和式という構造です。ま

た、梁実秋は詩の中で敷地内にあ
る大きなパンノキについて触れて
いますが、この木は現在も残って
います。

この美しい建築物は一般開放さ
れていて、わずか50台湾ドルの入
場料で、かつての日本建築の美し
さが学べます。

紫藤廬

紫藤廬は台湾で初めて市が定め
た古蹟です。この地には古くから
文化人を始め様々な人々が集ま
り、数多くの活動が行われてきま
した。台北市ではそういった空間
的な特色も含め市定古蹟とした初
の例でもあります。

1950年代、ここは自由主
義を唱える人たちの集いの場でし
た。1981年には茶館に改築
し、敷地内に本の藤の木（中国
語では紫藤）が生えていたことが



4. 梁実秋の旧居の中庭にある巨大なパンノキは、亡き妻を追悼するために梁氏自らが植えたものです。（写真・梁実秋の旧居）

ら「紫藤廬」と名付けられました。紫藤廬は台湾初の芸文サロンの特色を持った文化的な茶館で、お茶を介して様々な文化活動や講座などを開いていました。現在でも多くの文化人が集まる場所となっています。

紀州庵文学森林

日本時代であつた1917年に建てられた紀州庵は、もともと平松家が経営する日本式料亭でした。この一帯は新店溪の河畔にある景色の美しい場所です。当時は台北南部に住む人たちの生活の中心となっていました。紀州庵は戦後、公務員の家族が住むための宿舍となり、2004年に台北市の市定古蹟となりました。2011年には、古蹟の隣に「紀州庵文学森林」という新しい建物が設立され、文学の普及に努める台北市の文学の拠点となっています。ここには書店があり、食事の提供もし



5. 1950年代の紫藤廬は、社会活動家が頻繁に集まる場所でした。（写真・紫藤廬） | 6-7. 写真7が古蹟に指定された紀州庵、写真6が隣に建てられた新館の紀州庵文学森林。（写真・紀州庵文学森林）

ています。旧来の家屋と大きな木々が、美しい景観と静かな雰囲気を作り出しています。

東美院

牯嶺街にある東美院は、日本時代の中期には台北帝国大学の教授の宿舍群に属していました。戦後は台湾大学の教授の住居と

なり、哲学者の方東美（1899―1977）が30年あまり住んでいた事で知られています。それから文化資料の再利用と旧家屋の修復および活性化という理念のもと、2022年に2棟の日本式建築物を修復。

東美院は生活美の促進を目的とし、懐石料理の提供やお茶を



8. 東美院の旧邸宅は改築され、懐石料理と芸術が楽しめる空間に生まれ変わりました。（写真・東美院） | 9. ロンジンタイムゾーンにはグルメレストランがたくさんあるだけでなく、着物体験もできます。（写真・榕錦時光園区）。



楽しみながら工芸品を鑑賞できるギャラリーとなりました。他にも不定期で芸術や文化関連のイベントが開催されており、日本時代の建築物が美しく再利用された好例となっています。

榕錦時光生活園區

榕錦時光生活園區は、金華街の日本式建築が修復されて作られた新しいエリアです。2022年9月にオープンしたこの場所には、好丘や興波咖啡、臺虎精釀など台北の有名レストランが集まっています。もともとの日本式木造家屋のスタイルは維持しつつ、鉄骨やガラスなど現代の要素を取り入れ、旧家屋の新しい姿を作り出しました。また、ガジユマルやチャンチン、クスノキなどの老木も昔のまま残っていて、新旧が共存する美しさを表現しています。

古亭にあるオススメの小さな飲食店

咖啡学人 The Cafeist

同安街から金門街の一帯には数多くのカフェが集まっています。その中でも2店舗を構える「咖啡学人」は非常にオススメです。MRT 古亭駅の近くにある「咖啡学人傑克威爾」は、小さなスペースの中にランダムに家具が置かれています。金門街の角にある「咖啡学人老傑克」もまた小さなお店ですが、外国人の学生たちが中国語を学ぶ姿をよく目にします。



Ooh Cha Cha 自然食

Ooh Cha Cha 自然食は、完全な植物由来の食事を提供しているお店です。三角形の店内には大きな窓が設置され、小さな店内を明るい空間へと変えています。料理は手作りで、乳製品や精製糖など加工されていない食材を使用しています。メニューには使用している食材が全て明記され、ヴィーガンの人が食べられるデザートが揃っています。もちろん、ヴィーガンでない人にも人気です。



台北月見ル君想フ

潮州街にひっそりと佇む「台北月見ル君想フ」は、音楽とカレーを愛する寺尾ブッタが開いたお店です。店内には日本人のシェフが作るインドカレーをベースとしたスパイスカレーと特製カクテルを提供しています。地下1階には小型のライブハウスもあり、不定期でアコースティックライブが開催されています。また、日本のバンドを招いてライブを行う事も多いため、日本人の留学生に人気です。



関渡橋は淡水河にかかる重要なランドマークで、
1983年の竣工当時は世界三大鋼橋の1つでした。
(写真・Zifilm Studio)





美しく神聖な空間――

台北教会ツアー

文 Jenna Lynn Cook

編集 下山敬之

写真 台北市観光伝播局、済南教会、大稻埕教会、許育華、張友彦



台北の宗教建築と聞いてまず思い浮かぶのはお寺の数々です。台北という街のアイデンティティを語る上で、歴史的に貴重なお寺の数々は欠かせません。しかし、お寺だけでなく都市の中にある美しい教会も同様に多くの建築家や建築愛好家たちを惹きつけています。こうした建築物は、台北の宗教および文化の多様性と変化に富んだ歴史の証なのです。

たとえば、19世紀にジョージ・レスリー・マッケイ博士が創立し、後に移築された台湾基督長老教会大稻埕教会は、様々な物語に彩られた歴史ある建築物です。また、さらに古く18世紀から存在する台湾基督長老教会済南教会や、著名な人物を記念して名付けられた李春生記念基督長老教会、そして赤レンガではなく白と黒のデザインが印象的な台湾基督長老教会中山教会は、多くの人が訪れる台北のランドマークにもなっています。

ここではこれらの教会の歴史や特徴を紹介していくので、実際に足を運んで台北の歴史を感じてみてはいかがでしょうか。

大稻埕長老教会

台湾を訪れた外国人は数多くいますが、台湾基督長老教会大稻埕教会を創立したジョージ・レスリー・マッケイ博士ほど歴史に影響を与えた人物はいません。マッケイ博士は1872年に宣教師とし



て台湾を訪れ、訪問歯科サービスを提供し、後に教会や病院を創設しました。大稻埕教会は1875年当初、現在の延平北路三段に当たる場所に建てられましたが、1884年の清仏戦争により損壊し、現在の迪化街に一時的に移築されます。その後20世紀に入り、「台湾茶業の父」と呼ばれる李春生氏が現在の甘州街沿いの土地を寄付し、現在の姿となりました。

甘州街にある現在の教会は1915年に完成しましたが、元々の竣工日から考えると台北にある最古の教会です。また、日本時代に台北都市部に建設された基督長老教会の中では、現存する4か所のうちの1つでもあります。残りの3か所は、済南教会、中山教会、そして淡水教会です。

甘州街は静かで緑にあふれた通りなので、ここに赤レンガ造りの教会があることは予想しにくいで

しょう。1915年に建立されたままの姿で残っている礼拝堂の背には、新たに建てられたモダンな教会が見下ろすようにそびえ立っています。しかし、歴史的建築物が好きな人たちを魅了しているのはもちろん手前の古い建物です。教会の正面の外観は、日本時代の建築トレンドの影響を強く受けた伝統的な邸宅の佇まい。全体的なスタイルは、日本式のゴシック建築の装飾を取り入れつつ、シン

ブルさと精密な職人技がバランスよく保たれています。特に中央の牛の目窓の周りにある粘土細工の装飾は、柔らかな曲線を多く用い

1. 大稻埕教会の正面の外観は美しい装飾芸術を楽しむことができます。(写真・台北市観光伝播局) | 2. 大稻埕教会の鐘は異なる音色を奏でます。(写真・大稻埕教会) | 3. 大稻埕教会は日本時代に建てられた最古の教会です。(写真・大稻埕教会)



3

るアール・ヌーボー様式へのオマージュが見て取れます。その他にも、ゴシック風の尖塔アーチ状の線形や高窓、コリント式の柱を模したデザインなど、教会建築を示す要素が随所にあふれています。

もう一つの大きな特徴としては、一般的な教会のように中央に入り口があるのではなく、建物正面の両脇に2つの入り口があることです。これは当時、教会が性別

で席を分けており、入り口も男女別々にしていたことに由来しています。加えて、この教会の鐘は、25個の大小異なるもので構成されていて、毎日正午になると7種類の異なる音色が鳴り響きます。

済南長老教会

立法院の隣にひっそりと建つ18世紀風の教会です。官庁街にある



4. 済南教会は日本時代に作られた赤レンガと台湾で採石された白い石を使って建てられました。(写真・済南教会) | 5. 厳肅な様子の済南教会内部。(写真・済南教会) | 6. 李春生記念教会は赤レンガ建築と西洋風の装飾が特徴です。(写真・許育華)

ことから付近には教育部や監察院などの建物が並んでいます。こうした意外な場所にも歴史的な建築物があるのは台北ならではの教会には、日本時代に存在した台湾煉瓦株式会社の地元産の赤レンガを使用されており、台湾北部で採石された白い石とのコントラストが美しい建物です。

基礎のデザインは18世紀のネオゴシック様式で、イギリスの郊

外にあっても違和感がありません。正面の外壁には、印象的なチューダー様式の大きな高窓がはめ込まれています。この窓には1985年以来、透明なガラスが使用されていましたが、現在は創立当時に使用されたステンドグラスに戻り、かつての美しい輝きを見せています。他にも控え壁とゴシック様式の尖塔アーチ窓、千鳥積みめのレンガに枠取られた角窓を多用した外観、石造りにするこ

とで高い耐久性と遮光性、通気性を実現した鐘樓の石造りの鎧戸などが特徴です。また、現在台湾では生産されていませんが、台湾で唯一となる魚鱗銅瓦を使用しています。

教会の建つ交差点の名を冠した台湾基督長老教会済南教会は、これまで台風や地震、武力衝突といった危機を乗り越えてきました。

そして、台北の歴史のみならず、台湾全体の重要な歴史を目撃してきた場所でもあります。当時、ジームス・レイドロー・マクスウェル氏、ジョージ・レスリー・マツケイ博士といった西欧からの宣教師が教会を公的な組織にした一方、日本の長老派教会も教会の設立に尽力しました。済南教会が創立される以前の信徒たちは、西門町の西門紅樓にほど近い、現在の漢口街で小さな集会を開く程度だったのです。

済南教会は1916年に井手薫氏の設計で誕生しました。井手氏は他にも西門の中山堂（旧台北公会堂）、帝冠様式で設計した司法院、そして近代アール・デコ様式で設計した行政院といった作品を残しています。井手氏は、総督府専売局（現台湾菸酒公司本社）など、台北でも歴史的に重要な建物の設計に関わった建築家・森山松之助氏に師事していました。

李春生記念 基督長老教会

記念碑ではなく記念教会が建てられるほど大きな功績を残した李春生という人物がいます。李春生記念基督長老教会は、大稻埕近郊の一番西、細く静かな貴徳街に佇む、控え目な赤レンガ造りの建物です。ここは李春生氏の孫や子孫によって寄贈されました。特徴的なのは、この教会を正面から見る

と玄関が口、2階にある2つの窓が目となり、「顔」のように見えることです。

李春生氏は「台湾茶業の父」と呼ばれるほど、台湾の歴史に大きな足跡を残した人物です。李氏は、中国福建省・廈門市の貧しい船頭の家に生まれました。中国茶の会社で働いていたところ、

経営者としての能力を英国商人ジョン・ドッド氏に見いだされ、後に茶葉を台湾で一番価値のある輸出品に育て上げることに成功しました。

李氏は敬虔なキリスト教徒でもあり、台北に複数の長老派教会を建設するために資金と土地を寄付しました。李春生記念教会





は1935年に建設され、当初は台湾初の郵便局である大稻埕郵便電信局として使用されていました。その建物は現在も使用されています。スタイリッシュな2階建ての礼拝堂は、二重アーチの玄関、線形の装飾や牛の目窓など、日本時代のネオバロック様式やその他の西欧の影響を思わせます。また、入り口の上部に掲げられた教会名を記す中華式の看板も目を引きます。

中山長老教会

台北にある教会のイメージといえば、静かな通りに面した赤レンガの礼拝堂ですが、その予想を裏切るのが台湾基督長老教会中山教会です。この教会は交通量の多い林森北路と長安東路の交差点に面しています。加えて、外観にはネオゴシック様式を採用し、光の加減によって黒と白のコントラスト

が美しく見えることから、ウェディングフォトを撮影する際の人気スポットになっています。

日本人司祭の大橋麟太郎氏により1937年に建てられた中山教会は、元々は長老派教会ではなく聖公会に属する教会でした。しかし、日本による台湾統治が終わった後、当時は現地に聖公会教区が無かったことから、長老派が引き継ぐことになりました。

イギリスの教会を模した外観とされながらも、前述の済南教会とは大きく印象が異なり、黒い自然石と白い壁の対比が美しく、控え壁には千鳥積みを用いた装飾が施されています。教会内部は、ハンマービーム屋根から吊るされた乳白色のガラス製ペンダントライトが室内を照らし、時代を超えた優雅さを醸し出しています。



7. 中山教会の白と黒の外観は、台北の他の教会とは大きく異なります。(写真・張友彦) | 8. 中山教会はイギリス式の教会を模して作られました。(写真・張友彦)

教会の建物は上から見ると十字の形をしていて、一方には鐘楼があり、両端にはイエス・キリストが描かれたステンドグラスで飾り付けた牛の目窓があります。ステンドグラスには、ゲッセマネの園で祈る姿と羊飼いの姿という、いずれもキリスト教徒にとって象徴的なデザインが描かれています。他にも古い木製の扉の上には山型のステンドグラスと、ゴシック様式の尖塔アーチ窓がこの小さな教会の壮麗さを引き立てています。

台北の長老派教会では、中国語および台湾語以外に、英語、日本語、客家語での礼拝も行われています。また、教会内での写真撮影には事前の許可が必要です。通常の礼拝時間以外の見学も可能ですが、前もって電話で確認しておくことをお勧めします。



2023 耶誕愛無限



台北の教会を語る上で、「耶誕愛無限」というイベントの重要性は無視できません。台北市にとって特別な時期であるクリスマスには毎年、台北市政府や色々なグループと協力し、一連のクリスマスイベントを開催しています。

今年で3年目を迎えるこのイベントでは、クリスマスツリーのイルミネーションやキャロリング、商店街のプロモーションや抽選会など、さまざまな催しが行われます。開催期間は2023年12月初旬から2024年3月初旬まで、場所は公館商圈、永康商圈、大安森林公園出口11番、新生南路一段から三段付近で開催予定です。インスタ映えする眩しいイルミネーションや、魅力たっぷりの商店街プロモーションなどが予定されています。一年の締めくくりに、心温まる台北のクリスマスの雰囲気を経験してみましょう。

台北の書道の今昔： 朱振南の芸術の旅と洞察

文 方凱平
編集 下山敬之
写真 詹朝智、南院芸術



1

書道と水墨画の権威である朱振南氏は、台北駅と桃園国際空港の展示作品を手掛けたことで知られています。特に空港の第一ターミナル内にある作品『在旅行的路上』は、旅行者からの評価も高いですが、多くの人はこれが朱氏の作品であること知らないでしょう。

朱氏は伝統とモダンな要素を融合させた作品で、世界中の人たちを魅了しているアーティストです。台北市内には彼が筆を振るった傑作があちこち飾られているほか、伝統芸術の発展にも大きく貢献しています。

芸術、特に書道は、一部の選ばれた人にしか触れられない難解な領域と思われがちですが、朱氏は「芸術は大衆が触れられるものであるべき」と考えています。

台北の書道文化の歴史を紐解く

熟練の書家であり画家でもある朱氏は、長年にわたり台北の書道の伝統とその歴史的起源の研究に打ち込んできました。彼の鋭い洞察は、生涯をかけて芸術に打ち込んできた経験に裏打ちされています。

台湾北部の書道は、1949年以前に受けた日本の書道による影響が大きく、またこの時期には書道団体の滄廬書会を設立した有名な曹秋圃が頭角を現したと朱氏は言います。その後、国民党政府が台湾へ渡ってからは、曹秋圃を始めとする新進気鋭の著名人らが、以降30年近くに渡って台北の書道界を牽引しました。この時期、台北の書道は古

代の石碑の研究から書体を重視する傾向へ傾き、中国の伝統的な書道に深く根ざした保守的なアプローチへと変化しました。

そこから国際化が進むにつれ、台北は多様な文化が複雑に混ざり合っている、それが台北の書道にも大きな影響を与えました。特に様々な国から帰国したアーティストたちが持ち込んだ、多文化主義、抽象表現主義、ポストモダニズム、反伝統主義運動などの西洋の概念が異なる芸術ジャンルの激しい融合を生み、台北独自の分野を超えた芸術性が育まれました。台北の現代書道は、時代の変化に合わせて西洋的な要素を取り込み、自己表現を受容することで、今日見られるような創造的なスタイルへと変化していったのです。

創作書道の源泉

朱氏は、自然や人との触れ合いから創作のインスピレーションを得ています。周囲にある要素と壮大かつ微妙なニュアンス、自身の経験を巧みに織り交ぜ、素晴らしい作品を創り出しています。

彼と自然の繋がりについては、その貧しい生い立ちに由来します。貧困家庭に育った彼は、母の知恵に多大な影響を受けまし

1. 朱振南氏の作品が展示されている個人ギャラリー「南院芸術」。(写真・倉朝智) | 2. 台湾桃園国際空港の第1ターミナルにある作品『在旅行的路上』は旅行者に人気のスポットです。



2

た。書画への情熱をかき立てたのは、彼の記憶に刻まれた「早く死ぬのはいけないが、それ以外のことはなんでも早くやりなさい」という母の言葉でした。

朱氏は個人的な創作物であれ、依頼された作品であれ、そのテーマと自身とのつながりを重視します。例えば、台北や花蓮など複数の駅の碑文の執筆を依頼された際、彼は個人的に各駅を訪れ、それぞれの方向性を決めていきました。

駅ごとのユニークな雰囲気を作品に反映するには、それぞれ異なるスタイルで表現をする必要があると考えたためです。こうした姿勢からも、朱氏の芸術に対する揺るぎない信念がうかがえます。また、彼は旅行を通じて、シテ科学産業博物館、ノートルダム大聖堂、セントルイスのフォントボーン大学など、世界的な舞台でもし

ばしば制作を行ってきました。建築の驚異や多様な文化との出会いは、彼の芸術性に様々な形で影響を与えています。

台北と台湾：書道の芸術性を育む

台北と台湾、双方が朱氏の芸術性を形作っています。台湾の文化遺産と書道の伝統が彼の情熱を刺激し、台北の活気ある雰囲気彼の創作に国際的な側面を加えています。

彼は写実派の画家だった頃、台北の街を頻繁に描いていました。鋭い観察力を武器に、台北の建築、植生、人々の本質を捉えた傑作を数多く生み出しました。数え切れないほどの絵画を通じ、大都會のありふれた街並みの中にテーマを見出しては、飽くなき欲求とともにこの街の独特なスタイルと



特徴を描き出してきました。台北市は彼の故郷であるとともに、インスピレーションの源泉でもあるのです。

書道に満ちた都市

「台北は間違いなく書道愛好家にとっての天国です」と朱氏は言います。国父紀念館や中正

紀念堂のような公共施設はもちろん、大來小館や鼎泰豐のようなお店でも、著名な書家の作品が展示されています。

朱氏の作品は桃園国際空港内の昇恒昌免税店、台北市庁舎、国立台北芸術大学音楽学院、国立台北科技大学国際ホールにある「岳陽樓記」など、様々な公共のスペースで見ることができます。



3. 朱氏の書道は伝統的な形式から脱却しています。 | 4. 教皇ヨハネ・パウロ二世に朱氏が揮毫した『信條』を献上する様子。 | 5. 朱氏は中山堂で特別展『RE: THE SKY IN FRANCE』を開催しました。





6

他にも歴史的な書道作品を見るのであれば、様々な時代の傑作が多数収蔵されている国立故宮博物院もおすすめです。また、台北国際芸術村でも現代書家のためのダイナミックな展示会が開催されています。

新生南路一段にある朱氏の個人ギャラリー「南院芸術」は、進化し続ける彼の芸術性を体験できる場所です。展示はテーマ別にされており、パリ留学時代に制作したヨーロッパの影響を受けた作品など、あらゆる時代の作品が鑑賞できます。他にも様々なフォントやサイズで書かれた彼の書道作品も展示されています。

書道の楽しみ方

書道の精神は真、善、美を表現することにあると朱氏は言います。芸術に関する知識がない場合



7



6. 台北市庁舎 1 階には台北を俯瞰的に描いた朱氏の絵画が飾られています。| 7. 台北駅の外壁にある「台北車站」という文字も朱氏の手で生み出されたものです。| 8. 国立台湾戯曲学院の外壁にある『舞向世界（世界に向かって舞う）』、『戲看人間（人生を舞台劇として見る）』という文字も朱氏の作品です。| 9. 書道はパブリックアートに類すべきであると朱氏は考えています。（写真・詹朝智）

でも作品を鑑賞する際には、全体の勢いと筆遣いを細かく観察することが大切なのだそうです。書道は気品、テーマ、スタイル、落款などの要素が総合的な鑑賞体験を形成し、作品を見る人にも新しい気づきを与えてくれます。

「書の鑑賞に過度な専門知識は必要ありません。心で感じ、ゆっくりと味わうこと。完全に

理解できなくても、鑑賞すること自体に楽しみを見出すことができます。それがそれによいのです」と朱氏は説明します。

彼は芸術鑑賞において「直感を信じる」ことを大切にしています。過剰な知識は必要なく、誰もがそれぞれの視点を通じて、その美しさを楽しめば良いのです。◆

台湾ジェンダー 平等推進の先駆者 彩虹平権大平台

文 Rick Charette

編集 下山敬之

写真 彩虹平権大平台 許育華、顔健力



2019年5月、台湾でアジア初の同性婚法制化が実現され、今年5月には立法院が同性カップルの血縁を問わず共同で養子縁組する権利を認めました。これは台湾におけるLGBT+の権利問題の新たな一ページとなったほか、台湾社会の多様性と包括性をアピールしながら、近隣諸国に対してロールモデルとしての役目を果たしました。

このアフターマティブ・アクション運動の代表的なイベントは、毎年10月下旬に台北で開催される台湾LGBT+プライドパレード、今年は10月28日に開催されました。東アジア最大のプライドパレードであるこのイベントは、多くの人々の注目を集めることに成功し、世界中から集まった同性カップルや社会活動家を魅了しました。20年前の2003年に始まったこのイベントですが、今年の大会は特に大きな意味を持っています。

特にここ数年、地元開催の「LGBT+権利運動で先陣を切ってきたのは、2016年設立のNPO「彩虹平権大平台（FIC）」です。

きっかけと目標

「LGBT+フレンドリーな日常生活」が目標だと語るのは、エグゼクティブディレクターの鄧筑媛氏。「FICの前身は婚姻平権大平台という団体で、婚姻の平等と「多様性のある愛の推進」を唱え、台湾で同性婚が法制化された後の2020年に現在の組織となりました。「私たちは、取り組むべきことがまだあることに気が付いたので「FICへ組織を変更し、あらゆる形態のジェンダーの不平等の撤廃と、より多様な包括的な台湾の実現を新たな目標としました」と鄧氏は語ります。

最大の課題と歴史 が動いた瞬間

NGOを最も苦しめる課題と最も満足が得られる成果は、どちらも同じ進化の過程における本質的な部分であり、1つの包括的な答えで解決できると鄧氏は言います。初期の頃はNGOがイベントを開催しても一般の人達はあまり興味を示さなかった

ため、彼女や活動家はそのことに動揺し、大いに悲しんだと言います。

「こうした挫折を味わっても、私たちは前向きな未来を描かなければいけませんでした。台湾は一般的にとっても開放的で許容力の高い社会ですが、私たちが目にした無関心な姿は、まさに「Gai+の権利問題が『見えない』」問題であり、一般市民にとって

日常的な現実ではなく、眼中になかったのです。それを変えることが私たちの使命なのです」。

長年の努力の結果、意識は大幅に変化しましたが、その成果は亀の歩みのようにゆっくりなものでした。「ですが、2023年の私たちを振り返って見て下さい。短期間で驚くべき成果が実現されたと感じられるはずです。事実、2019年には同性婚が法制化さ

れ、今年の1月には台湾人と中国人を除く外国人との国際同性婚、そして5月には、配偶者との血縁関係がなくとも同性カップルによる共同養子縁組が認められました。私たちがこの社会をポジティブに変えているのです」と力強く語りました。

改正前の同性婚特別法では、お互いの実子しか養子縁組にすることができませんでした。異性の夫婦とは違い、同性の夫婦は他人の養子縁組を申し込む権利も、互いの養子を養子縁組にする権利もなかったのです。

鄧氏はアジア全体が伝統的に「Gai+」の権利に保守的であり、長い歴史から見れば、人々の意識は瞬間のうちに变化したと説明します。現在、「Gai+」の平等と存在を支持する人は今まで以上に増え、この問題が人々の中で当たり前になるくらいにまで浸透しました。



1. 同性婚に関する第3読会は歴史的な瞬間を目撃した。雨の中、人々はまだ興奮して声援を送っている。 | 2. 彩虹平権大平台 (TEC) による台北の街頭パレード。

「しかし、こうした人々は自動的に増えていったわけではありません」と鄧さんは指摘します。

社会の意識と運動 の変化&TECの 道のりと未来

鄧氏が最近直面した問題は、社会の意識の「停滞」や「後退」だと言います。TECは2019年に同性婚の法制化以降、毎年春に社会の意識調査を実施しています。去年までは同性カップルが結婚し、子供を育てることができ、か等の問題を支持する人が増え、「LGBT+」コミュニティも一般的に受け入れられるようになってきました。しかし、今年になってから全体の「親しみを感ずる」、「支援する」という意見がわずかに減少し、「支持しない」や「反対する」の比率が増加しました。





3. 毎年 10 月に開催される台湾 LGBT+ プライドパレード数万人が参加します。 |
4. TEC の CEO、鄧瑋媛氏がインタビューで自身の歩みを語った。(写真・顔媛力) | 5. 彩虹平權大平台が作ったピン。(写真・許育華)

多くのカテゴリーで、自分の子供、親戚、上司や教師、同級生や同僚、政府高官、国会議員や市議会議員が同性愛者であることを「受け入れる」という意見が数%減少したのです。

これはネガティブな結果ですが、全体では「支持する」が 50%以上を大幅に超えていることが

プラスだと鄧氏は話します。「こ

こでの最大の問題は、若者に「LGBT+ の権利と公平性の概念を説明すると、彼らは道徳的根拠を理解し、その価値観を受け入れることができます。しかし、異なる価値観で育ってきた上の世代の人たちには、こうした多様性のある意識が根付いておらず、ずれが生じていることに気が付

きました。こうした問題への関心を維持し、私たちの社会で広く深く教育、普及できるかは「LGBT+」や他の団体の努力次第です。そうしていくことで、現代の若者が年齢を重ねていくにつれて「新たな意識」は広く、そして深く浸透するでしょう。私たちは「LGBT+」の人たちが特別な存在ではないことを示し、日常生活で普通に

受けいれられるようにしなければいけません」。

「TEC の主要な活動目的は、『ゲイ』の家族、『ゲイ』の同僚、『ゲイ』の顧客、『ゲイ』の議員という『特別』な括りで扱うのではなく、単純に家族、同僚、顧客、議員と扱ってもらうようにする事です」と鄧氏は付け加

えます。「TC」はこの目標実現のため、様々な活動を行っています。

マクロな視点では、「政策の提案として、現在は異性の夫婦に限定されている生殖技術の支援の平等を求めています。政治参加についても、同性愛者を公言する候補者を増やし、政府関係者のカミングアウトを推奨しています。現在、1万1000人以上いるトップのうちLGBT+であることを公開しているのはわずか3人です」。

ミクロな視点では、「社会教育として、私たちは交流を通じて「GB+」コミュニティへの理解を促進するボランティアを養成しています。また、「GB+フレンドリー」を宣言する企業に対して、「GB+」の顧客と気持ちよく付き合っていく方法を指導するトレーナーを派遣できないかお願いしています。この他にも、ビジネ

スの場で使用するレインボーカラーのハートの看板をデザインしたり、医療関係者にどう呼ばれたいか（「Mr.」、「Ms.」、「さん」だけなど）を示す保険証用のステッカーのデザインなどを手掛けてきました。これらは全て「GB+フレンドリー」の一般化への道のりに貢献しています」と鄧氏は話します。

おすすめの LGBT+フレンド リースポット

台北の「GB+」の現実について知るなら、台北市政府が運営する台北トラベルネットワーク (Travel Taipei) の「レインボーの旅に出かけよう」コーナーがおすすめです。このサイトでは、レインボーフラッグの色に塗られた二二八和平記念公園の彩虹鉄門やデモのメッカである凱達格蘭大道、「GB+」の問題や歴



6. 支持者らは総統府前で毅然とした態度をとる。 | 7. 集会中、台湾の虹色の旗を太陽が明るく照らします。 | 8. 台北東区を走るゲイパレードの広告車両。



史に特化したスポットを旅行者へ紹介しています。このコーナーには「GBTフレンドリースペース」のリンクも貼られています。

また、台北市政府が運営するサイト「台北友善店家」(friendlystore.taipei)では、ジェンダーフレンドリー、イングリッシュフレンドリー、ムスリムフ

レンドリーなど、各ジャンルに対応した店舗を検索することができます。

10月には市内でレインボー観光バスツアーも開催されます。これは台湾「GBT+プライドパレード」前に台北で毎年開催されるColor Taipeiというイベントの一環です。Color Taipeiの目的は、台北市のレ

インボーツーリズムとビジネスの強化です。バスツアーはドラッグイーンがホストを務める大変楽しいイベントです。日帰りツアーでは主に歴史的スポットや記念スポットを巡り、夜間ツアーでは「GBT+向けのバーやナイトクラブを訪れます。

中でも西門町にある西門紅楼は「GBT+フレンドリー」のお店、バー、ナイトクラブが多いので、特

におすすめだと鄧氏は言います。西門紅楼にある南広場は貴重な遺産や建物が混在しているほか、屋外席を完備したゲイバーやお店も並んでいます。周辺エリアも「GBT+フレンドリー」なお店やエンターテインメント施設が豊富です。「南広場は安全で落ち着いた雰囲気魅力です。異性愛者やカップル、独身を問わず人目を気にせずに行くことができます。深夜のドラァグショーは特に大人気です」。

また、個人経営の書店は特に「GBT+フレンドリー」だと鄧氏は言います。市南部に位置する「晶晶書庫」は、1999年にアジア初の複合型カルチャーショップとしてオープンしました。ここは、「GBT+コミュニティ」の精神的なシンボルであり、「GBT+」に関する書籍や商品の販売に加え、随時展示会やその他カルチャーイベントを開催しています。

鄧氏は、1998年に設立された台湾最大かつ最古のコミュニティ相談・支援団体である台湾同志諮詢熱線協会を紹介してくれました。この団体の功績は数多くありますが、中でもプライドパレードを開始した事が最大の功績だと鄧氏は教えてくれました。その多くの成果の中でも、このグループは広く愛されている台湾「GBT+」プライドキャンペーンを立ち上げました。観光客には見逃せないパレードです。

関渡自然公園は、保護、教育、研究などを行う多機能公園であり、
国家レベルの重要度に指定されている湿地でもあります。
(写真・Zifilm Studio)





丸一日食べ歩き：

台北グルメ探訪ツアー

文 Tina Teng、林涵青
編集 下山敬之

写真 RAW、張國、Bob Tung、許育華、秦雅如



1

台北は世界的に有名なグルメ天国です。夜間にもさまざまな美食が食べられることから眠らない街とも言えるでしょう。こうした忘れがたい味を年中無休で楽しめる台北のグルメ文化こそが、台湾を訪れる旅行者にとっての大きな魅力となっています。ですが、なぜ台北は台湾における食の中心なのでしょうか？

その理由を台北で生まれ育った熟練のフードジャーナリスト、林涵青氏が語ってくれました。「台湾の首都である台北には、国内外から人が移住し、各地の美味しい料理が持ち込まれています。地元の人々や観光客が舌鼓を打つ美食は、移住者たちもたらす多様な文化によって豊かになっているのです。」台北の人々は心から食を愛し、食を楽しむためにはお金を惜しみません。ささやかな屋台から贅沢な高級レストランまで、幅

広い食通の期待に応える様々な料理が目白押しです。

台北の活気ある夜食文化はもとも夜間労働者や遅くまで残業をする人たちのニーズによって生まれました。やがてこの文化は、台北独自の通年24時間営業の書店のスタイルと絡み合い、台北にユニークな魅力を添えました。加えて、台北ランタンフェスティバル、台北白昼の夜（ニユイ・ブランシユ・タイペイ）、大稻埕夏祭りなどの夜祭の出現により、台北の夜は活気溢れる様相へと変貌しました。こうしたイベントが台北の便利な交通機関や治安の良さと相まって、深夜経済を繁栄させる基礎を築いたのです。

林氏は食の世界についての豊富な知識を活かし、1日で楽しめる台北のグルメガイドを作成してくれました。

07:00 朝食

台北には、他の大都市とは比べものにならないほど多様な朝食メニューが揃っています。中でもかつて5年連続でミシュランガイドに推薦された阜杭豆漿（フーハン・ドウジャン）は必見です。常に長蛇の列で賑わうこのお店で試してほしいのは、卵を厚めの生地で包んだ厚餅夾蛋。焼きたての生地からは美味しそうな香りが漂っています。名物である風味豊かな豆乳もおすすめです。

もっと冒険してみたい方は、伝統的な台湾式朝食に挑戦してみましょう。卵クレープ（蛋餅）、大根餅（蘿蔔糕）、台湾式ハンバーガー、サンドウィッチに紅茶やミルクティーを添えれば、ボリュームたっぷりの伝統的な台湾式朝食の出来上がりです。

12:00 昼食

昼食には近くの台湾料理の屋台を訪れましょう。大稻埕にある慈聖宮前には20軒以上の屋台が並び、豚肉のお粥（肉粥）、菜膳スープ（四神湯）、豚あばら肉のスープ（排骨湯）、豚の血の

スープ（猪血湯）、豚足春雨（豬腳麵線）、海鮮炒め（海鮮熱炒）などが味わえます。大稻埕に立ち寄れば、食欲を十二分に満たせること間違いなしです。地元流の食べ方をするのであれば、春雨スープ（米粉湯）や豚肉のお粥に、豚モツをスライスした黑白切などの副菜を3〜4品添

えましょう。食通の舒國治はかつて、台湾の小吃文化をこのように表現しました。「全ての料理を少しずつ試してみることが最も満足の行く食べ方である」。寺院の前に立つガジュマルの木の下で食事をする、この体験に独特の味わいを添えてくれます。



1. ミシュランで2つ星を獲得したRAWは台湾を代表するレストランです。（写真・RAW） | 2. 阜杭豆漿は有名な台湾朝食のお店です。 | 3. 大稻埕にある慈聖宮前の広場で伝統的な台湾料理を食べると、ローカルな雰囲気を楽しめます。

牛肉麵もまた台湾人にとって特別なメニューであり、あらゆる好みに合わせた複数のバリエーションが存在します。例えば、蒸し煮（紅焼）、煮込み（清燉）、トマトスープ（番茄湯頭）などで、それぞれに熱烈なファンが存在します。牛肉は好みの食感や味に合わせて薄切りか角切りかを選べます。麵も細麵、太麵、刀削麵、春雨など様々な選択肢があります。

牛肉麵は路上の小さな屋台だけでなく、永康牛肉麵、建宏牛肉麵、林東芳牛肉麵、老山東のような有名店、さらにはリージェント台北やシェラトン・グランド台北ホテルのような5つ星ホテルでも味わうことができます。



4

北投の伝統之最豆花堂、公館の龍潭豆花の豆腐プリンは特に人気なので必ず満足できるでしょう。また、永康街にある白水道花と

16:00 アフタヌーンティー

台北はアフタヌーンティーのお菓子の選択肢が非常に多いため、決めるのは簡単ではありません。古亭では温州街蘿蔔絲餅達人というお店の前に、揚げたてを求める人たちが長蛇の列を作ります。一方、光華商場や晴光市場の外には、今川焼きに似た紅豆餅（別名…車輪餅）を売る屋台が並び、観光客や地元の人々に午後の軽食を提供しています。

一方、豆腐プリン（豆花）やかき氷（剉冰）などお手頃な価格の伝統のデザートも忘れてはいけません。寧夏夜市の豆花莊、



6



5



4. 古早味冰果室のかき氷はトッピングの種類が豊富で、自由を選ぶことができます。（写真・秦雅如） | 5. 牛肉麵は台北を代表するグルメの一つです。 | 6. 午後のおやつとして温州街の大根餅を食べましょう。（写真・許育華） | 7. ル・パレ（頤宮）の看板メニューは広東式ガチョウのローストコース。（写真・頤宮）

内湖にある芋艸川豆花は、流行に敏感な新進のお店です。かき氷では、龍都冰菓專業家、台一牛奶大王、東區粉圓、水龜伯古早味など伝統的なお店が地元の人々に人気です。台湾かき氷の最大の魅力は、里芋から作る芋圓やタピオカなど、自分好みのトッピングが選べるということです。

19:00 夕食

ミシュランで2つ星を獲得した有名レストラン「JAW」は、世界的な高級台湾料理店のスタンダードとなっています。シェフが台湾産の食材を巧みに活かし、台湾で愛されている屋台料理の要素を取

り入れることで、台湾独自のビストロノミーを作り出しています。台北の日本料理も非常に高水準です。2023年に発表されたミシュランでは、星を獲得した台北の35軒のレストランのうち、8軒が日本料理店でした。特に、江戸前寿司を得意とする

鮎野村は、6年連続で1つ星を獲得しています。謙安和は、内装も料理も日本のミニマルな美意識を取り入れています。一方、今年1つ星から2つ星に昇格した牡丹・極上天からは、控えめながら洗練された天ぷらメニューを提供しており、絶妙な風味で食べる人を魅了しています。





8

この他にもミシュラン3つ星を6度獲得し、高い評価を得ている広東料理店ル・パレ（頤宮）では豊かな中華料理が堪能できます。特に看板メニューの広東式ガチョウのローストコース（火焰片皮鵝）は予約が必須なので、忘れずにおきましょう。ミシュランの星を獲得した欣葉・鐘菜では、心地よく家庭的な雰囲気の中で美味しい台湾料理を味わうことができます。また、



9

1930年代の贅沢な雰囲気味わえる山海樓は、ミシュラン1つ星とミシュラン・グリーン1つ星を獲得している高級レストランです。

21:30 夜市

まだホテルに戻るには早すぎます。グルメ探訪において活気溢れる夜市は外すことができません。饒河、寧夏、士林、臨江／通化は、台湾で最も有名な夜市です。これらの市場は夜10時になっても活気に満ちており、道を埋め尽くすように立ち並ぶ様々な屋台からは、美味しそうな香りが漂ってきます。特に臭豆腐、牡蠣オムレット（蚵仔煎）、大腸麵線、台湾式唐揚げ（塩酥雞）、台湾式煮込み料理（滷味）、鶏一枚を揚げたジーパイ（鶏排）といった台湾を代表する屋台料理やタピオカミルクティーなどがおすすめです。



8. 夜市にはいつも様々な食べ物の屋台が並んでいます。(写真・秦雅如) | 9. 台北には特徴的なバーがたくさんあります。(写真・秦雅如) | 10. 夕方から早朝まで営業しているおかゆやかずのお店は夜食に最適です。

23:00 バー

夜が更けるとともに台北はますます魅惑的になり、日本酒、ワイン、ウイスキー、クラフトビール、カクテルが好きな人たちの楽園となります。特に台北のカクテ

ルは、近年国際的な評価を得つつあり、有名な Indigo Bistro は、アジアのベストバー50に常にランクインしています。今年は、英国風の The Public House が初めてリストアップされました。また、大稻埕のワトソンス薬局（屈臣氏大薬

房）の2階にある WOSOM ASW Tea House（沃森茶酒館）は、昔ながらの魅力があります。ワインテージでノスタルジックな雰囲気と台湾の茶焼酒は、台北の夜にユニークで楽しい味わいをもたらしてくれます。

02:00 深夜の軽食

バーでお酒を楽しんだ後は軽食で締めましょう。復興南路の小李子清粥小菜は午後5時から午前6時まで営業しており、100種類近いおかずを提供しています。他にも24時間営業の洪記豆浆大王、瑞安豆浆大王、福徳冷麵では、時間を気にせず手頃な価格で軽食が楽しめます。

加えて、台湾のコンビニにも美味しいメニューが揃っています。定番の茶葉卵、ホットドッグ、おでん、各種コーヒー、有名レストランとコラボした中華や洋風のお弁当まで、想像以上の品揃えに感心することでしょう。台北ではどのような料理も食べたくなったらすぐに食べられるので、今回紹介した美食をぜひ試してみてください。◆

①過度の飲酒は健康に害を及ぼします

台北の秋のご馳走 3軒のバーベキュー店と、 ご自宅での調理方法

文 朱寛元
編集 下山敬之
写真 新村站着吃烤肉、朱寛元



1

台北では秋が深まると、中秋節に満月を眺めながら愛する人とバーベキューをするのが定番になっています。

そのきっかけには、1970年代に放映されたバーベキューソウスの広告の影響であるとか、メーカが海外輸出に失敗して国内にバーベキューグリルが普及したためであるとか、諸説があります。

このユニークな現象の由来が何であれ、愛する人とのバーベキューは、台湾のあらゆる階層の人々が楽しむ時間です。

国際色豊かな国際都市である台北では、様々な文化のバーベキューを目にすることができます。本記事では特筆すべき3つのスタイルをご紹介します。さらに、DIYバーベキューのヒントやレシピも掲載されていますので、お祭りのご馳走作りに活用ください。

モンゴル式— 大戈壁蒙古烤肉

CNNが2017年に「世界最高のバーベキューの1つ」と評したモンゴル式バーベキューは、実は台湾で発明されたものなのです。その調理法は、他の多くのグリルバーベキューとは異なっています。

最初のモンゴル式バーベキュースタンドは、伝統的な中国喜劇で知られるクロストーク・アーティストの吳兆南氏が1951年に開いたとされています。興味深いことに、この料理はモンゴルとはほとんど関係がありません。実のところ、彼は故郷である北京のバーベキュースタイルにインスピレーションを受けて「北京式バーベキュー」と名付けたかったのです。しかし、中国の首都を取り巻く政治的な事情に配慮して、吳は

代わりに「モンゴル式バーベキュー」という名称を選びました。

モンゴル式バーベキューは、中国の炒め物や日本の鉄板焼きに似ており、これら2つのスタイルに影響を受けたと考えられています。調理は円形の平らな金属面上で行われ、シェフはスライスした肉、野菜、ソースを木箸で手早く炒めます。

台北の中心部に位置するダゲビは、シェフの見事な腕前を堪能できるモンゴル式バーベキュー店です。トレードマークの金属面の上でシェフが優雅に箸を動かす様子は、食欲をそそる香りが漂う前から満足感をもたらしてくれます。

食材の豊富さに迷ってしまいそうな方のため、このレストランでは誰でも簡単にできるレシピを提案しています。すべてのソースをスプーン1杯ずつ使うこともでき



1. お肉をハサミで切って焼き加減を確認しましょう。（写真・新村站着吃烤肉） | 2. 台北を訪れる際は犬吠壁蒙古烤肉へ足を運びましょう。 | 3. モンゴル式焼肉は他とは異なり、大きな金属製の鉄板の上で調理します。



ますし、シェフ特製レシピの特製ソースでシンプルに味わうこともできます。モンゴル式バーベキューでは、牛肉、鶏肉、豚肉、豚バラ肉、羊肉など様々な肉を楽しむことができます。そして、麺、ネギ、タマネギ、緑色野菜、豆腐、モヤシ、エノキ、ニンジン、トマトのピクルスなど、カスタマイズ用の具材も豊富です。

日本式 — 大阪焼肉焼魂

日本式バーベキューなら、台北で日本人に最も人気のある場所の1つ、中山北路一段付近の條通エリアにたくさんのお店があります。

日本人創業者の宮澤寛竹氏が設立した焼肉店「焼魂」は、本格的な和食空間を提供しています。店内の装飾や雰囲気は心地

よく、大きな声で元氣よく迎えてくれる店員のもてなしは、熱々のグリルを囲む人々を心温まる体験へと誘います。

牛肉がメインであるこのお店では、看板メニューの1つであるネギハラミがお勧めです。ハラミは、外はカリカリ、中はミディアムの焼き加減で調理されます。さらに、たっぷりのネギがまぶされます。ネギが柔らかな肉によく合い、食感の脂っこさを抑えてくれます。

壺漬けカルビは特に食べ応えがあつて美味しいです。味噌で味付けされたカルビがミディアムウェルで焼かれた後、素晴らしい甘味を加えられます。

大阪スタイルの日本式バーベキュー店として、牛ホルモンの種類が豊富なことも、焼肉店「焼魂」を際立たせる魅力の1つです。こ



4. 大阪焼肉焼魂は、台北の條通エリアにある本格的な日本式の焼肉店です。



5. 新村站着吃烤肉のサガリは品質が高く、味付けも完璧です。(写真・新村站着吃烤肉)

のお店では、牛の動脈と上胃（第一胃）が大変ユニークで美味しいです。いずれも牛の味わいが強く、動脈はコリコリと歯切れよく、胃には心地よい歯応えがあります。

韓国式—— 新村站着吃烤肉

ソウルのランドマーク的存在であるバーベキューレストラン、延南站着吃の初の支店として、韓国式バーベキュー——新村站着吃烤肉では、韓国の伝統を象徴する、油樽グリルで焼いた立ち食いバーベキューを味わうことができます。

活気あふれる店内では、韓国のコンビニ風の冷蔵庫に様々なおかずが並び、韓国の日常風景が食事体験を盛り上げます。お勧めはキムチと海藻です。ご飯、

レタス、海苔も、脂っこいメニューとのバランスを取るのに適しています。

このお店のお勧めは、韓国の本店と同じくオーストラリアの牧場から取り寄せた、牛肉のサガリです。サガリは本場韓国のバーベキューソースで下味を付けた後、油樽グリルで調理します。

下味のプロセスで、韓国風の甘い味も加わります。文旬なしの美味しさです。

イペリコ豚も欠かせません。牛肉とは異なり、豚肉はマリネされておらず、代わりに塩が添えられます。

楽しい雰囲気、韓国料理、様々な味が味わえる人気焼酎、そして活気あるドリンクイベントによって、70年の歴史を持つこの韓国のランドマークは台北でも人気を獲得しました。



6. 新村站着吃烤肉は、ドラム缶の焼き台を使った立ち食い式が特徴です。（写真・新村站着吃烤肉）

台湾式— DIYスタイル

台北では、自分でグリルを設置して楽しむ台湾式バーベキューも人気です。グリルバーベキュー火小酒館のオーナーでプロのバーベキューシェフ、ザック・リンさんが、DIYバーベキューのコツを教えてくださいました。

準備作業

DIYバーベキューをする際に、グリルの下でうまく火をおこすには、特別な技術が必要です。

簡単なDIYグリルと炭は、チェーン店のスーパーマーケットで買うことができます。従来のライターと火口の他に、ザックさんは火をおこすとき、特に便利なプロトーチもお勧めしています。



エノキのバター焼き（奶油金針菇）

材料：エノキ、バター、黒胡椒、塩、ニンニク、その他好みの香辛料。

1. アルミホイルでボウルを作るか、使い捨てのものを購入してください。
2. マッシュルームの石づきを取り除き、バター、黒コショウ、塩、ニンニク、その他のスパイスを加えます。
3. バター、黒胡椒、塩、ニンニク、その他の香辛料を入れます。
4. グリルで10分間焼きます。



ヘチマと二枚貝の炒め物（蛤蜊絲瓜）

材料：ヘチマ、二枚貝、ビール（または他のアルコール）、塩、その他好みの香辛料。

1. アルミホイルでボウルを作るか、使い捨てのものを購入します。
2. 魚介類をきれいに洗い、ヘチマと一緒に入れます。
3. ビール（または他のアルコール）を好きなだけ入れ、塩を加えましょう！
4. 15分経ち、すべての食材（特に魚介類）に火が通ったら完成です。



7. 台湾式焼肉をより楽しむ方法。



▶ リバーサイドパークスベ
シヤルイベント会場

大戈壁蒙古烤肉

所在地 中山区松江路 152 号 3 階
営業時間 11:00 ~ 15:30
17:00 ~ 21:00

大阪焼肉焼魂（林森本店）

所在地 中山区新生北路一段 132 号
営業時間 17:30 ~ 00:00（日、月）
17:30 ~ 02:00（火～土）

新村站着吃烤肉

所在地 信義区忠孝东路五段 159 号
営業時間 11:30 ~ 01:00（土、日）
11:30 ~ 15:00（月～木）
17:00 ~ 01:00
11:30 ~ 15:00（金）
17:00 ~ 02:00

3×8〜10センチほどの炭を
グリルの下に敷きます。ジェンガ
ゲームをするときにのように、塔
の形に積み重ねましょう。こう
することで、酸素がタワールを通
り抜けて熱が均等に広がります。
炭が赤くなるまで加熱しまし
よう。タワール土台の部分が赤く
なったら、燃えている炭から他
の部分にも熱が行き渡るように、
タワールを均等に崩します。

バーベキュー本番

ここでザックさんは、グリル
の火加減を判断する面白い方法
を1つ教えてくれました。手の
ひらをグリルから10センチ離し
てかざし、どれだけ耐えられる
か試してみましよう。3秒しか
耐えられないのなら、グリルは
強火にないっています。5〜7
秒耐えられるのであれば中火、
10秒なら弱火です。火力を調節

するには、グリルから真つ赤に
焼けた炭を取り出すか、少しず
つゆつくりと水をかけましよう。
その後、必要に応じて燃える炭
を足して火力を強めます。
肉を焼くには強火がお勧めで
す。バーベキューで牛肉のスラ
イスを完璧に焼くコツは、裏返
さずに片面を焼くことです。上
面が肉汁でいっぱいになったら、
肉を裏返してほんの少し火を通

せば出来上がりです！
中火や小火は、天麩羅や猪血糕
のような台湾バーベキュー独特
の食材に最適です。ここで棒を
使うと、食べ頃かどうかを確認
することができます。棒で刺し
て感触を確かめましよう。外が
カリッとして、中が柔やらかく
なったら食べ頃です。焼くとき
には台湾式バーベキューソース
を使うことをお忘れなく！
◆

ジャーナリストの旅： 台北の複雑さと魅力を

紐解く

文 顔婕力
編集 下山敬之
写真 許育華、顔婕力、Alice Herait



1

2022年9月、CNNは台北に新たな支局を開設し、この地域の報道の中心となる拠点を設置しました。この動きは、台湾がニュースメディアにとって重要な役割を果たすという、世界規模の発展を表しています。

台北は報道の自由度が高いことで知られ、地理的にも恵まれていることから、CNNが拠点を構えた以外にも近年、多くの国際ジャーナリストを惹きつけています。彼らの存在は、ダイナミックに変貌し続けるアジアの政治情勢のリアルな現状を知りた

1. アリス・ヘライト氏のお気に入りの Ecole Cafe でインタビューを受けて頂きました。（写真・許育華） | 2-3. アリス氏の趣味は昭和町文物古董市場を散策することです。（写真・顔婕力）

いという集団的な願望を物語っています。今回は、過去4年間台北を拠点に活動してきたフランス人フリージャーナリスト、アリス・ヘライト氏に伺った興味深いお話を紹介します。

中国語学習から国際関係学へ

アリス氏は、国際関係学を専攻したことがジャーナリストとしての道を歩むきっかけとなり、さらには台湾、中国、及びアジア全域の政治に着目した活動へと繋がりました。彼女はフリーランスのジャーナリストとして、FRANCE 24、LE FIGARO、HKFP（香港フリープレス）など様々なメディアに寄稿しています。テレビ番組のフィクサーとして、番組と記者との橋渡しの役割を担うこともあります。アジアの政治に興味を持つようになったきっかけについて尋ねる

と、彼女は高校時代、新しい言語を学びたいという興味から、中国語の授業を受け始めた時のことを語ってくれました。「初めは新しい言語を学びたいという単純な動機だったのですが、そこから知らず知らずのうちにジャーナリズムを追求する旅へと走り出していました」。

2012年、アリス氏は中国の北京へと飛び、2か月にわたって中国語の学習に専念しました。故郷のパリから遠く離れたアジアへ一人で旅するのはこの時が初めてだったと言います。この新鮮な経験を振り返り「当時、私はまだ19歳でした。控えめに言っても、その文化の違いに圧倒されました」と彼女は率直な気持ちを打ち明けてくれました。

彼女の中国語の学習と言語への揺るぎない情熱は衰えることはなく、それはやがて台湾への興味へ

と変わっていきます。2019年、アリス氏は念願叶って交換留学生として台北を訪れ、国立台湾大学の中国文学課程に入學しました。この時期にたまたまブロのジャーナリストと出会ったことが進路に大きく影響し、彼女は専攻を国際関係学に変更することになったのです。

台湾独自のコミュニケーションと安

アリス氏は台北に来た当時を振り返り、「北京の時ほどのカルチャーショックはありません

でした」と語ります。ですが、台湾人とフランス人のコミュニケーションには違いがあると彼女は言います。「台湾人のクラスメートとやり取りをする際、言葉の壁だけでなく、意見が異なる際のアプローチの違いに苦労しました」。



続けて、「台湾は文化的に、対立や直接的に反対意見を述べるのを避ける傾向があります。台湾人は、私たち西洋人にはとても理解できないような言い回しをするのです」と説明してくれました。この文化的な違いは、彼女が台湾で活動する際にも影響がありました。「フランス人は一般的に率直で、知らない人に対しても臆することなく自分の意見を述べます。なので意見の相違があった場合、その本音を探るのに苦労しました」。

ですが、台北に4年間住むうちに、彼女はそういった文化的慣習を深く理解し、自分のものにした。その結果、彼女はパリに戻ったときにも、今までよりリラックスして、あまり身構えずに会話をするようになったと言います。

もう一つ、アリス氏が台北で衝撃を受けたのは安全性の高さで

す。「台湾の安全意識の高さは群を抜いています」と彼女は言います。彼女は、銀行に携帯電話を置き忘れ、1時間後に戻ってみると元の場所にそのまま置いてあったという体験をシェアしてくれました。こういったことは台湾では珍しくなく、むしろよくあることだと彼女は強調します。

ジャーナリスト の視点と台北での 発見

台湾の兵役から旅行経験まで、多数のインタビューや報道をこなしてきたアリス氏は、ほとんどのメディアが政治情勢を積極的に報道しており、特にフランスの多くのメディアは台湾に関して興味を示していると話します。彼女の中で特に言及する価値が高いテーマは、台湾のアイデンティティに関



4-5. アリス氏お気に入りハイキング スポット — 台北 金面山。(写真・Alice Herait)



わる事だそうです。「私はフランスの新聞『ル・モンド・ディプロマティーク』で、今も中華民国を信じる人々と、台湾という名の国を夢見る人々のナラティブ戦争についての記事を書いています。台湾の歴史について語るとき、両者の見解は全く異なると彼女は強調します。台湾が『エコノミスト』誌から「地球上で最も危険な場所」というレッテルを貼られたこ

とについて尋ねると、アリス氏は「台湾が危険な場所だと言いたいのではなく、ここで大きな紛争が起こる可能性がある、というメッセージを世界に伝えることが目的だったでしょう。私にとって台北は、世界で最も安全な町に住んでいると実感できる場所です」と答えてくれました。

アリス氏はこの4年間、様々な地域を転々としてきました。最初に住んだ林森北路付近は多数のバーがあり、賑やかなナイトライフで知られています。その後、中山国小の近くに移動し、現在は彼女のお気に入りエリアとなった古亭付近に住んでいます。

台北の中でも多様性のあるエリアに住む彼女は、古亭にある緑、アンティークショップ、居心地の良いカフェに愛着を持つようになりました。フリーランサーである彼女は近所のカフェで仕事をする

ことが多く、中でも屋外スペースのある「烘焙者咖啡」はお気に入りの店の一つです。「学校咖啡馆」も彼女がよく通うお店で、今回のインタビューもここで聞いたとのこと希望でした。

また、昭和町文物古董市場を散策することも彼女の楽しみです。

「何も買わないんですけど、ただ眺めているだけで楽しいんです」と彼女は率直に打ち明けてくれました。買い物に関しては、伝統的な生鮮市場を利用して、そこで買い集めた食材で一から台湾料理を作ることにハマっていると言います。

仕事以外では、ハイキングや大安森林公園でのヨガ、のんびりとした散歩といったアウトドア活動にいそしんでいるそうです。台北のお気に入りスポットを尋ねると、六場だという内湖の金山山と教えてくれました。「観光客で混

雑することも少ないですし、整備された歩道と補助ロープを使いながら、達成感のあるハイキングが楽しめるんです」。猫空や烏來周辺でのハイキングも好きだという彼女は「ハイキングなら台湾が一番です」と続けます。

ローカルの料理の中では、台北在住の外国人にのある八仙炭烤がアリス氏のおすすめ。台湾式居酒屋の熱炒の賑やかな雰囲気を楽しめるそうです。また、客家料理店の「晉江茶堂」も彼女のお気に入り。「友人や家族を連れて行くなら、間違いなくここです」と彼女は言います。実際、もうすぐ彼女の両親が台北を訪問予定なのだそうです。台北の自然の美しさや豊かな文化、そして素晴らしい食文化に対するアリス氏の深い敬意は、彼女がマイホームと呼ぶこの魅力的な都市に対する純粋な愛情を表しています。



TRAVEL INFO

旅のお役立ち情報

台北 MRT

営業時間：06:00 ～ 24:00

24 時間お客様専用ダイヤル：(02)218-12345

切符：



IC トークン (片道切符)
NT\$20 ～ 65



MRT 1 デイパス
NT\$150



24 時間パス
NT\$180



48 時間パス
NT\$280



72 時間パス
NT\$380

電子マネー：

チャージするだけで MRT(都市交通システム) など公共交通機関やコンビニエンスストア、特約
商店での小額決済ができます。レンタサイクルの YouBike にも使えます。購入は MRT やコンビ
ニなどの取扱店で。



EasyCard



iPASS

バス情報

乗車運賃：

大人：現金、EasyCard いずれも 1 区間ごとに 15 元

学生：現金は 1 区間ごとに 15 元、EasyCard の場合は 1 区間ごとに 12 元
(学生証の提示が必要)

身長 115cm 未満あるいは満 6 歳の小人：身分証がある場合は無料

バスの路線情報：

Taipei eBus
ebus.gov.taipei

YouBike 情報

YouBike は台北市の公共レンタサイクルで、EasyCard やクレジットカードでレンタルが可能です。利用料金は 30 分ごとに発生し、レンタル時間の長さによって変動します。詳細は以下を参照してください。



YouBike のレンタル会員になりたい方は、こちらのページよりご登録ください：youbike.com.tw/region/taipei/register/

北北基おもしろカード

北北基おもしろカードには 4 つの
種類があります。利用できる種
類：無限周遊カード (観光スポッ
ト + 交通機関乗り放題)、観光ス
ポット周遊カード (観光スポット
+ EasyCard)、定番スポット版 (観
光スポット 2 箇所 + EasyCard)、
と交通周遊カード (交通機関乗り
放題)。有効期間内であれば、台
北市、新北市、基隆市、桃園市を
訪れることができます。



無限周遊カード
有効期間は
1 日券 / 2 日券 / 3 日券
NT\$1,200/1,600/1,900 元



観光スポット
周遊カード
2 日券 / 3 日券 / 4 日券
NT\$650/850/1,050 元



定番スポット版
台北 101 +
国立故宫博物院
14 日間有効
NT\$950 元



交通周遊カード
有効期間は
1 日券 / 2 日券
3 日券 / 5 日券
猫空ロープウェー 1 日券
NT\$180/310/440/700/350 元

旅のインフォメーション

交通部観光局 24 時間対応、無料の旅行情報ホットライン：0800-011-765

外国人在台生活相談：1990

台北市民ホットライン：1999 (市外 02-2720-8889)

台北トラベルネット：travel.taipei/ja

(中、英、日、韓、タイ語、インドネシア語、ベトナム語、スペイン語による市内観光情報)



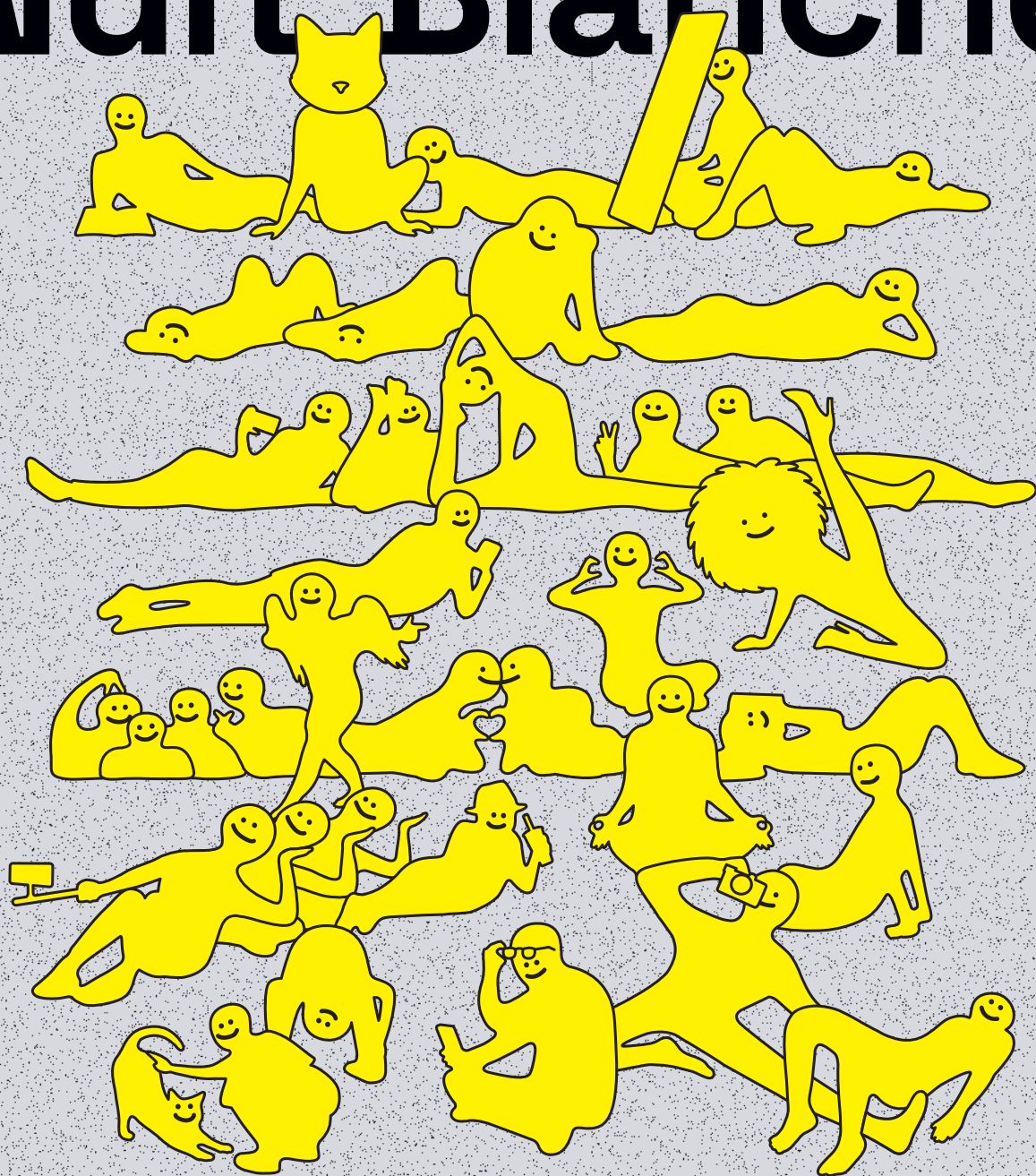
台北市ダブルデック観光バス
TEL: (02)8791-6557 EXT. 30

@信義

Nuit Blanche

2023

TAIPEI



10/7 6PM
10/8 6AM

信義を照らす
台北白昼の夜

undiscovered
taipei
你所未見的台北

Guandu
Bird Art
關渡藝術節

宝島固有種

Endemic birds
of Formosa

2023 第25回台北国際バードウォッチングフェア
2023 25th Taipei International Birdwatching Fair

10 /
21-22
Sat Sun

🕒 09:00 - 16:30

📍 関渡自然公園

入場無料

with
デジタル版/
紙版ポストカード付き

タイワンガビチョウ

ミカドキジ

タイワンゴシキドリ

タイワンマシコ

テッケイ

ヤمامスメ

ルリチヨウ

監督当局



農業部
林業及自然保育署
Forestry and Nature Conservation Agency,
Ministry of Agriculture



Taipei City
Animal
Protection Office
臺北市動物保護處

主催



社團法人台北市野鳥學會
Wild Bird Society of Taipei

広告

台北野鳥學會HP
facebook 台北野鳥學會 WBST

票價: 1000 / 2000

